

「現地を訪問して想うこと」

1964年 経済学部卒

渕 良三

東北応援ツアーは昨年は岩手県コース、本年は福島県相馬コースに参加させていただきました。

福島県相馬コースは津波被害と原発事故による放射能の徐前状況を視察することでした。津波被害の復旧、復興に関しては相当進行している様に見えましたが、民間の生活は未だとの感じでありました。

原発事故による放射能の除染は、被曝線量の基準が不明確なこともあって、福島市内の周辺でも未達の感でありました。

農産物も全数検査で検出していないのに風評被害として出荷できない状況も再発見でありました。

特に時間の経過と共に福島嫌悪状況が風化して、全国の人達に忘れ去られるのではないかとの危惧は一層感じる事となりました。

今回は福島県校友会の方々と一緒にバスに同行していただいた事により、再発見があり、復旧、復興への支援を続ける必要を通関した次第であります。

来年以降もツアー続行をお願いするものであります。